



令和5年度全国学力・学習状況調査の結果の分析をもとに、水戸市の子どもたちの学びの力をさらに伸ばすために学校や家庭で大切にしたいと考えられる内容をまとめたものです。「自ら学ぼうとする意欲」や「一人一人の確かな学び」を実現するために、学校と家庭、地域が一体となった教育活動を展開することで、引き続き子どもたちの学力向上に取り組んでまいります。

令和5年度 本校の教科の学力状況（小学校） ※県の正答率は、整数値で公表

	国語	算数	本校の総括
城東小学校	▲	▲	国語では、話し手が伝えたいことを捉えたり、算数では、比例ではないことの説明をするために適切な言葉を考えたりすることができました。しかし、本校の平均正答率は、国語・算数ともに県平均より低い水準でした。今後は、学習内容の確認や復習を行い基礎・基本の定着を図るとともに、考えを伝え合いながら考える力を育てる授業づくりに取り組んでいきます。
茨城県	67%	61%	
全国	67.2%	62.5%	

◎：県を上回っている ○：県と同等程度 ▲：県を下回っている

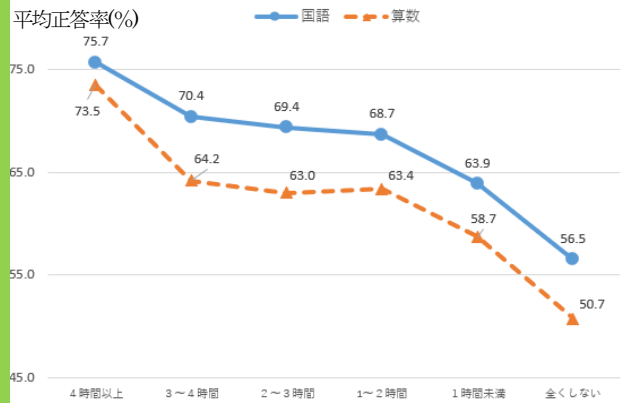
【水戸市の調査結果から】

国 語
<p>《成果》</p> <ul style="list-style-type: none"> 送り仮名に注意して、漢字を文の中で正しく使うことができる。 図表やグラフを用いて、自分の考えが伝わるように書き表し方を工夫することができる。 <p>《課題》</p> <ul style="list-style-type: none"> 自分の考えを知識や経験と結び付けて表現することに課題がある。 複数の資料を目的に応じて活用することに課題がある。 <p>《改善方法》</p> <ul style="list-style-type: none"> 他者の考えと比較しながら、自分の考えをまとめ、記述する場面を設定する。 根拠となる情報を基に自分の考えをもち、ほかの誰かの考えを受けて、自分の考えを練り上げる場を設定をする。

算 数
<p>《成果》</p> <ul style="list-style-type: none"> 表から、比例でないことを見だし、表と説明した言葉を結び付けることができた。 <p>《課題》</p> <ul style="list-style-type: none"> 高さが等しい三角形で、底辺と面積の関係を基に面積の大小を判断し、その理由を記述することに課題がある。 図形の定義や与えられた条件をもとに筋道を立てて説明することに課題がある。 <p>《改善方法》</p> <ul style="list-style-type: none"> 友達の考えを説明する活動や1つの方法で解決しても別な方法がないか話し合い、表現する場を設定をする。

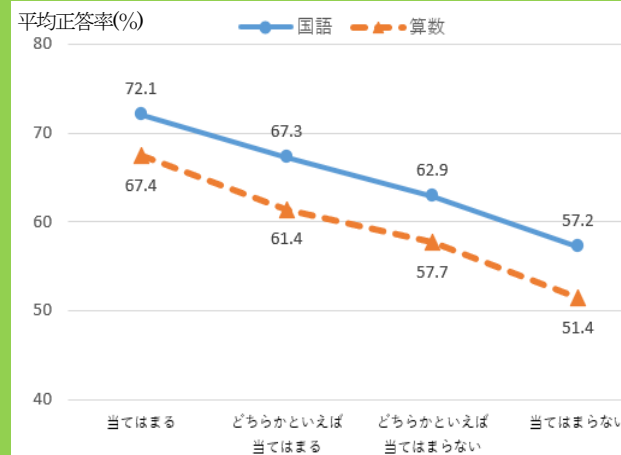
【児童質問紙の結果から】

○ 土曜日や日曜日など学校が休みの日に1日どれくらいの時間勉強しますか。(塾や家庭教師、インターネットを活用して学ぶ時間も含む)



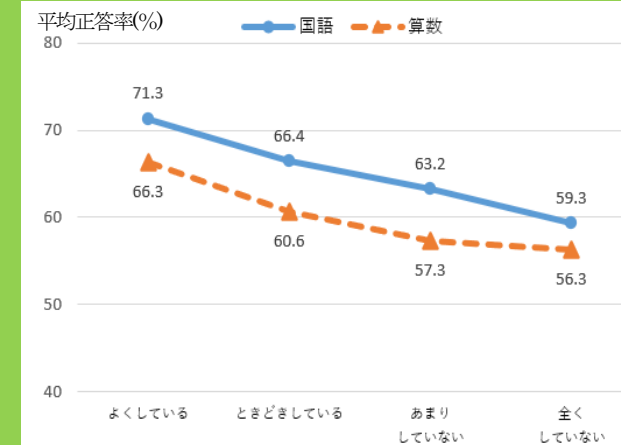
▷集計結果から、休日の学習が、確かな学力の定着につながります。

○ 自分と違う意見について考えるのは楽しいと思いますか。



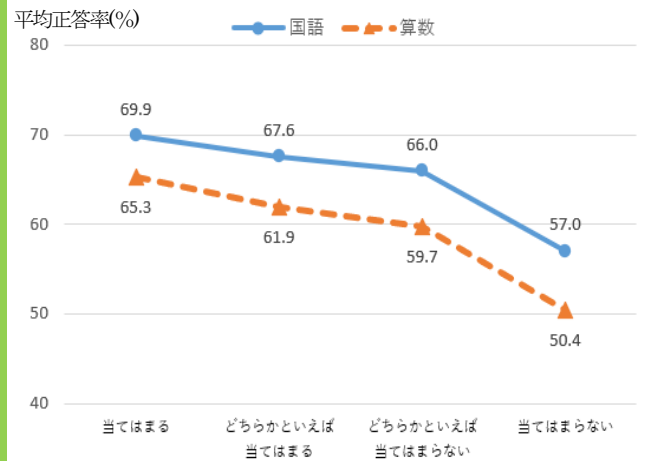
▷集計結果から、違う考えを受け入れながら、自分の考えを新たにすることが学力向上につながります。

○ 家で自分で計画を立てて勉強をしていますか。(学校の授業の予習や復習を含む)



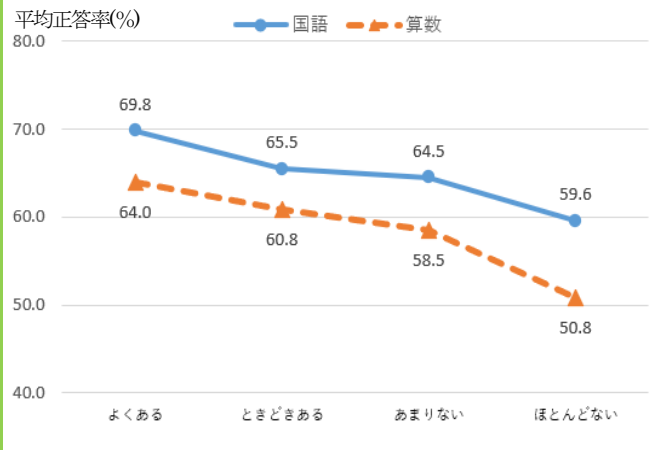
▷集計結果から、自分で学習の計画を考えることが、効果的な自主学習につながる考えられます。

○ 地域や社会をよくするために何かしてみたいと思いますか。



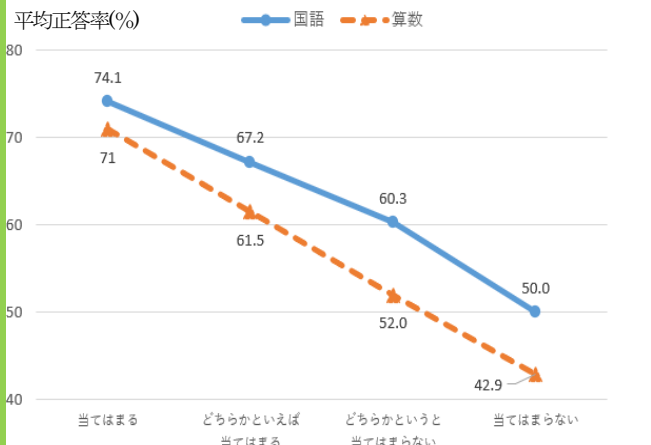
▷集計結果から、「人の役に立つ」ことを前向きに感じることと学力には相関関係があります。

○ 普段の生活の中で、幸せな気持ちになることはどれくらいありますか。



▷集計結果から、幸せな気持ちになることと学力には相関関係があることがわかります。

○ 5年生までに受けた授業では、課題の解決に向けて、自分で考え、自分から取り組んでいましたか



▷集計結果から、自分自身で課題を解決する方法を見つけていくことの重要性がわかります。

＜確かな学力を育成するために＞

児童質問紙の結果から、自主的に学習へ取り組むことへの大切さがわかります。また、地域の役に立ちたいと思うことや多様な考え方を受け入れ、新たな自分の考えを新たに作ることの重要性も見取れます。御家庭におきましては、規則正しい生活を送るための支援はもちろん、児童の幸せが高まるよう、児童の主体的なチャレンジや前向きな行動に対して、温かな声かけをお願いします。